

ぱびるす

読み聞かせ・文庫応援フェスタ2013が行われました！

9月14日・15日に中央図書館で「読み聞かせ・文庫応援フェスタ2013」が開催されました。館内には手作りののぼりが立てられ、このイベントは、苫小牧市内の読み聞かせサークル・文庫などによる、読み聞かせや人形劇などで使用している作品や活動報告などを展示するほか、おはなしコーナーや講堂で読み聞かせを行い、日頃の読み聞かせ活動を披露していました。また、15日には、札幌市のくすみ書房の社長久住邦晴さんをお招きし、講演会も行われました。



← 久住邦晴さんの講演会には、悪天候の中、60人以上の方にご来場いただきました。

↓ 読み聞かせや人形劇の熱演に、たくさんの方が聞き入っていました。

↓ 展示会場ではスタンプラリーが行われ、景品を手にした子どもたちには笑顔があふれていました



図書館文化セミナーのお知らせ

11月と12月に図書館文化セミナーが開催されます。11月には釧路公立大学の森山弘毅名誉教授をお招きし、古典文学についての講演を、12月には絵本作家のよしながこうたく氏をお招きして、創作活動のお話やライブペイントを行います。どちらも事前申込制ですので参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。

◎ 11月開催 図書館文化セミナー（古典）

日時 11月30日 13:30～15:30
会場 中央図書館2階 講堂
講師 釧路公立大学名誉教授 森山弘毅氏
テーマ 中世 都市と地方の歌謡

— 『閑吟集』と『田植草紙』の世界—

対象 市民の方

定員 70人

申込 11月1日（金）より申込受付開始

開館時間内 中央図書館カウンター

または 電話（35-0511）で受付
先着順のため、定員になり次第、締切

◎ 12月開催 図書館文化セミナー（児童）

日時 12月22日（日）10:00～11:30
会場 中央図書館2階 講堂
内容 絵本作家よしながこうたく氏による、絵本の創作活動に関するお話とライブペイント

対象 幼児から小学生まで

定員 70人

申込 11月20日（水）より申込受付開始

開館時間内 中央図書館カウンター

または 電話（35-0511）で受付
先着順のため、定員になり次第、締切

新着図書(一般書)

お役立ち本

『必ず役立つ吹奏楽ハンドブック ステージパフォーマンス編』ヤマミュージックメディア
 『Q&A生活保護利用ガイド』山田 壮志郎/編著 明石書店
 『研修・講座のつくりかた』佐藤 晴雄/著 東洋館出版社
 『これ1冊で安心!介護保険のしくみ・使い方・お金のすべて』ナツメ社
 『出張ホテルの超達人』櫻井 雅英/著 USE
 『知っておきたい委任状A TO Z』藤田 真弓/著 税務経理協会
 『資格取り方・選び方オールガイド 2015年版』日本文芸社
 『税金がぐぐになる、おとな「NISA」活用入門』竹川 美奈子/著 日伴社
 『成功する海外ボランティア21のケース』ダイヤモンド・ビッグ社
 『セカ就!』森山 たつを/著 朝日出版社
 『ぜんぶわかる!自転車トラブル一発解決手帳』学研パブリッシング
 『ただしいむすび方86』ABC-MART/監修 学研パブリッシング
 『つり堀の教科書』上田 歩/著 滋慶出版 土屋書店
 『やせる!きれいになる!炭酸生活』前田 眞治/著 幻冬舎
 『47都道府県・伝統調味料百科』成瀬 宇平/著 丸善出版

海外文学


『奇跡の時代』カレン・トンプソン・ウォーカー/著 角川書店
 『さよならまでの読書会』ウィル・シュワルビ/著 早川書房
 『時鐘の翼』ルカ・マサーリ/著 シーライトパブリッシング
 『出訴期限』スコット・トゥロー/著 文藝春秋
 『ハロルド・フライの思いもよらない巡礼の旅』レイナルド・ジョイス/著 講談社
 『マクナイーマ』マリオ・チ・アンドラーチ/著 松籟社
 『緑衣の女』アーナルデュル・インドリダソン/著 東京創元社

日本文学


『駅物語』朱野 帰子/著 講談社
 『おれたちを笑うな!』椎名 誠/著 小学館
 『海賊女王』上下巻 皆川 博子/著 光文社
 『金井美恵子イッセイ・コトコト』1~2巻 金井 美恵子/著 平凡社
 『奇譚を売る店』芦辺 拓/著 光文社
 『こんなにも優しい、世界の終わりがた』市川 拓司/著 小学館
 『耕せど耕せど』伊藤 礼/著 東海教育研究所
 『代官山コールドケース』佐々木 譲/著 文藝春秋
 『動員時代』小川 国夫/著 岩波書店
 『苦手図鑑』北大路 公子/著 角川書店
 『花や咲く咲く』あさの あつこ/著 実業之日本社
 『政と源』三浦 しをん/著 集英社
 『無垢の領域』桜木 紫乃/著 新潮社
 『明治・妖(あやかし)モダン』畠中 恵/著 朝日新聞出版
 『わたしはここにいます』篠田 真由美/著 光文社

歴史・時代小説

『月神』葉室 麟/著 角川春樹事務所
 『喧嘩猿』木内 一裕/著 講談社
 『捨ててこそ空也』梓澤 要/著 新潮社
 『正妻』上下巻 林 真理子/著 講談社
 『千両かんぱん』山本 一カ/著 新潮社
 『天を裂く』大塚 卓嗣/著 学研パブリッシング
 『ともえ』諸田 玲子/著 平凡社



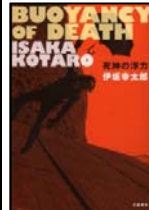
『おとなが育つ条件』
 柏木 恵子/著 岩波書店
 成長は新しい能力を得ることだけではない。これからの高齢化社会の中であるべき大人像を、一度見直すことを考えさせる一冊です。



『ぼくは「しんかい6500」のパイロット』
 吉梅 剛/著 こぶし書房
 未だ全てが知られていない海底の一部を潜水船のパイロットである著者が、リアルに記す一冊。



『zuccoのプラバンブローチ』
 zucco./著 ティック社
 絵を写したプラバンをオープンで温める、そんな懐かしい遊びで作れるカラフルブローチの本です。



『死神の浮力』
 伊坂幸太郎/著 文芸春秋
 『死神の精度』の続編が8年ぶりに刊行。いつもの通り雨の中、死神の千葉が裁定するのは復讐を目論む一人の作家で…。

本の情報・話題の本

図書館に住む本の話

今回のテーマ：やっぱりどんぶりの秋でしょう。

お米は毎日食べていても、新米はこの時期にしかない特別なもの。そんな美味しいお米の上に、美味しい肉や魚をのせればジャパニーズ・ワンプレート、どんぶりの完成です。ガッツリからあっさりまで『丼本』(596.3ト)、時間がない時には『家に帰ってすぐできるどんぶりとのっけごはん』(596.3ト)など、魅惑のどんぶりマニュアルが図書館でお待ちしております。

食べた後は文化公園でのウォーキングで、プラスマイナス0にしたいですね。

※料理の本は、実用書コーナーにございます。請求記号は596～596.9、背の赤い丸シールが目印です。ご不明な場合は職員までお尋ねください。



予約本ランキング

1	「ホテルローヤル」	桜木紫乃	
2	「大泉エッセイ」	大泉洋	(88)
	「色彩をもたない多崎つくと、彼の巡礼の年」	村上春樹	(88)
	「夢幻花」	東野圭吾	(88)
5	「海賊とよばれた男」	百田尚樹	(87)
*	「泣き童子」	宮部みゆき	(61)
*	「望郷」	湊かなえ	(49)
*	「64」	横山秀夫	(49)
*	「医者に殺されない47の心得」	近藤誠	(46)
		島中憲	(46)

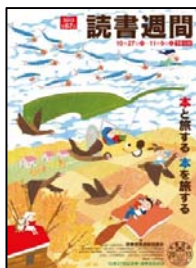
9月19日現在

何読む?これ読む?～読書週間2013～

10/27～11/9は読書週間です。

この週間の始まりは戦後に読書で平和な国を目標に掲げた図書館や出版業界が開いたイベントだったそうで、現在ではそれがごく自然に、『読書の秋』という形で広まっていることは喜ばしい限りです。

中央図書館では、日本SF作家クラブ50周年にちなんだ展示『SF特集』やよみきかせイベント『おはなし広場』、読書感想画コン



クール入賞作品の展示など、この時期にあわせて多くの行事が予定されております。これが一人でも多くの方へ読書の良さを広めるきっかけとなれば幸いです。

勿論普段通り、人気ドラマの原作、読書以外の秋をサポートする本、調査のお手伝いになる本もご案内致します。

この秋は”本当は毎日が読書週間”な図書館へ、たくさん足をお運びください。

図書館員の読書日記

猛暑だった今年の夏も過ぎ、あっという間に秋めいてきました。読書の秋到来といったところでしょか。本当は読書の秋らしく長編小説にも挑戦したいのですが、なかなか手を伸ばすことが出来ず、手に取るのは料理などの実用書ばかり。これでは読書の秋というより食欲の秋に傾いている気配がします。

図書館員としてこれでは情けないと思い、せめて読み物を、と手に取ったのが西加奈子さんの「ごはんぐるり」です。西加奈子さんはイラン生まれのエジプト、大阪育ちという小説家です。そんな一風変わった経歴の方がごはんについて書いたエッセイとなると、馴染みのない料理がたくさん出てくるのかな、と少し身構えつつページを開きました。

予想に反して出てくるのは肉じゃがや卵かけごはんといった身近な食べ物で、調理実習として各国の家庭料理を作ってみよう、という章もありますが、西さんの好奇心につられて興味が沸きます。

エッセイに出てくるたくさんの食べ物の中で気になったのは、西さんが初めて作った料理でした。ごはん、スクランブルエッグと、出汁の入っていないお味噌汁。8歳か9歳の彼女が初めて作っ

たその朝食を読んで、私が初めて作った料理は何だったろうとぼんやり記憶を辿ってみました。

そして思い出したのは、同じく9歳くらいの頃に作った、お菓子みたいに甘くて茶色く焦げた卵焼きでした。

その日、母が出かけている間に何がきっかけだったのか、不意に卵焼きを作ってみようと思いつきました。見よう見まねで母のやり方を思い出して作ってみたものの、砂糖は多すぎるし、火力も強かったのかフライパンに焦げ付いて上手く巻けません。結果的に出来上がったのは、卵焼きというより「甘くて茶色い何か」でした。

西さんのエッセイを読みながら、私にも同じような経験があったけど、彼女と同じようにそれなりに大人になっているのだなあとしみじみしました。そしてしみじみした翌日に、テフロン加工が若干はげかけたフライパンで寝ぼけながら作った卵焼きは、まんまと焦げたのでした。

大人になるのには、まだまだ修行が必要なようです。

『ごはんぐるり』(E/C)
西加奈子/著 NHK出版



今回は「0」の日記です



こどもの本のページ



「なーらんだ」
三浦 太郎／作・絵
こぐま社 Eナ

今月の イチオシ作家 三浦 太郎 さん



「おしり」
三浦 太郎／作
講談社 Eオ

1968年愛知県生まれ。
大阪芸術大学美術学科シル
クスクリン専攻卒業。自作の絵本
『くっついた』（こぐま社）で、数多くの
読者を得た。また、イタリア・ポローニャ
国際絵本原画展入選をきっかけに、海外で
も絵本を出版し、幅広く活動している。主
な作品に『なーらんだ』『わたしの』
（こぐま社）『よいしょ』『とどくか
な』（偕成社）『おしり』（講談社）
などがある。



「りんごがコロコロ
コロリンコ」
三浦 太郎／作
講談社 Eリ



「ポケット」
三浦 太郎／さく・え
童心社 Eホ

（『おはなをどうぞ』（のら書店）
奥付より抜粋）



「ちいさなおうさま」
三浦 太郎／〔作〕
偕成社 Eチ



「おおきなおひめさま」
三浦 太郎／〔作〕
偕成社 Eオ



「ぼくはブルドーザー！」
三浦 太郎／作
こぐま社 Eホ

あたらしい本



8・9月にとどいた
本からピックアップ♪

「丸小ビーズでつくるぺたんこ
ビーズマスコット」
59マ

奥 美有紀/[著]
ブティック社



海の仲間から、きれいな花、
カッコイイ乗り物、ファッショ
ンアイテム、星座のマーク
まで、かわいいぺたんこビー
ズマスコットの作り方を紹介
(しょうかい) します。



「オズの魔法使い」 93オ
ボーム/原作、
トミイ大塚/まんが 小学館

カンザスの少女ドロシーが竜巻
(たつまき) に飛ばされてやって
きたのは、オズ大王が支配(しは
い)する世界。ドロシーは仲間た
ちとともに、エメラルドの都を目
指します。世代(せだい)をこえ
た名作をまんがで楽しめます。

おしらせ

赤ちゃんを楽しむ
♪はじめての絵本ひろば♪

10月は1歳児さんの回です♪よみきかせや絵
本のアドバイスなど、赤ちゃんと一緒に楽し
い時間を過ごしませんか?

10月18日(金) 10時30分～

♪秋の読書週間ビデオ上映会♪

11月2日は秋の読書週間! みやにしたつやさ
さん「おまえうまそうだな」のビデオを上映する
よ。人気絵本を大画面で見よう!!

11月2日(土)
10時30分～と14時～の2回



♪おはなし広場♪



11月3日は文化の日。楽しいおはなしをた
くさん用意してまってるよ♪きてね!

11月3日(日) 10時30分～

くわしくは8pをごらんください♪

よみきかせ会

会場 おはなしコーナー
定員 40名

○舌小牧子ども本の会○
(第1・第3日曜日)

10月6日・10月20日
11月3日・11月17日
12月1日

午後3時～3時30分

クリスマスおはなし会

12月15日

午後2時～3時

○にじのはし○

(第2土曜日)

10月12日・11月9日・
12月14日

午後11時～11時30分
(第4土曜日)

10月26日・11月23日

午前11時～11時30分
午後2時～2時30分

※12月28日はお休みです

ストーリーテリング

会場 おはなしコーナー
定員 40名

○おはなしオルゴール○
(第3土曜日)

10月19日
11月16日
12月21日

午後2時～2時30分

かみしばい
紙芝居

会場 サンガーデン
定員 40名

○かみしばいおじさん○
(第2土曜日)

10月12日
11月9日
12月14日

午後2時～2時30分

ていきき ぎょうじ
定期的な行事の
おしらせ

めいさく じょうえいかい
名作アニメビデオ上映会

会場 2階講堂
定員 70名

バーバパパ、たまごにいちゃん
などのビデオを上映します。

(第2・第4日曜日)

10月13日・10月27日
11月10日・11月24日
12月8日

午前10時30分～11時

12月22日は
児童文化セミナー
のためお休みします



郷土・参考資料室からのお知らせ

図書館で新聞調査 (2)

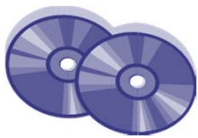
今回は、前回に引き続いて郷土・参考資料室で扱っている新聞についてご紹介します。

新聞の保存方法には、ご紹介済みの現物保存の他にマイクロフィルム、縮刷版、CD・DVD-ROMなどが挙げられます。

普段目にする事の少ない「マイクロフィルム」ですが、これはロール状になったフィルムに新聞がページごとに焼き付けられており、専用の機械（マイクロリーダー）を使って見るものです。（※現在マイクロリーダーの不備により、使用はおすすめしていません。）



また「縮刷版」とは、ひと月ごとに一冊の本にまとめられて、各新聞社から発行されるものです。これには、主な記事の見出し索引があり、記事を探す際の手助けになります。当館では残念ながら、現行の縮刷版で定期購入しているものはありません。かつて北海道新聞を購入していましたが、2005年2月号で購入を中止しています。



これらに代わって購入を始めたのがCD・DVD-ROMといったデジタル版です。こちらは資料室に置かれている、専用パソコンを使ってご覧いただけます。

デジタル版の良い点は、出し入れや複写による原紙の劣化や経年劣化を防げるほか、保管場所をあまりとらない、という点です。また、キーワードによる記事の検索も可能です。（一部非対応）

このように、一口に新聞と言っても保存形態がいろいろあり、その特性を活かした活用を、図書館では行っています。

今回ご紹介した資料のほとんどは、一般の方は入ることのできない場所に保管していますので、利用を希望される際は、職員に声をお掛けください。

また、当館に所蔵のない新聞の記事や資料をお探しの際も職員にご相談ください。希望の新聞を所蔵している機関を探し、可能な場合は複写を依頼するなどして、記事を手に入れるお手伝いをいたします。ただし複写をご依頼の際は、実費（コピー代や送料など）をご負担いただきます。



*2階資料室でご利用いただける新聞（現物以外：抜粋）	
朝日新聞（CD版）：平成3年～17年（テキストのみ）	
〃（マイクロフィルム版）：明治21年～平成3年	（閲覧のみ）
北海道新聞（DVD版）：平成16年～	
〃（縮刷版）：昭和43年～平成17年2月	（途中欠あり）
〃（マイクロフィルム版）：明治20年～平成15年	（閲覧のみ）
苫小牧民報（DVD版）：昭和25年～平成22年	（キーワード検索非対応）

当館の取扱い新聞の詳細については、図書館HP「新聞／雑誌一覧」（※）から「取扱い新聞一覧」で確認することができます。また、カウンターにも一覧をご用意していますので、ご覧ください

（司書：西保）

※参照URL：苫小牧市立中央図書館HP「取扱い新聞雑誌」
http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/toshokan/shinbun_zasshi.htm

新着図書を紹介

新しく入荷した図書の紹介です

『北海道鉄道なんでも事典』（H686.2/ホ）
北海道新聞社/刊



北海道の鉄道について平易に解説。雑学や歴史などカバーする範囲は広く、読んでも楽しい鉄道事典です。巻末には、JR北海道年譜と索引が収載されています。

（郷土資料）

この本は2階郷土・参考資料室で見ることができます。

参考図書室・郷土資料室の ご利用に際して



★かばん等の持ち込みはできません。手荷物をロッカーにお預けの上、筆記用具類のみをお持ちになってお入りください。

★資料室には自習のための席はありません。自習する方は、2階電子情報サロン隣の『自習室』をご利用願います。

ふるさとの一片(60)

～郷土資料コーナーで見つけた～

遠藤ミマン

教育者としても優れていた
苦小牧を代表する画家



能登正智の版画「アカネヤ理髪館」(左) その2階に住んでいたミマン 昭和11年頃(右)

教師としても優れた遠藤満男先生

遠藤ミマンは苦小牧を代表する画家です。同時に、苦小牧に美術館を切望した最初の市民でもありました。「明日の美術館を夢見る会」を創設した当の本人は鬼籍に入られて夢を實現することは叶いませんでしたが、念願の美術館は今年の七月に苦小牧市美術博物館として現実のものとなりました。今年にはミマンの生誕百年ということに九月に催した記念展は大盛況のうちに終了しました。

この美術展を契機に各紙で芸術家・画家、遠藤ミマンの絶賛に近い再評価を行ってききましたので、ここでは教育者・教師としての遠藤満男を紹介したいと思います。

遠藤ミマン、本名は満男。安平村(今の安平町)で大正二年(一九一三)に生まれ、遠浅小学校から札幌師範学校へ進学。昭和四十九年(一九七四)苦小牧市美園小学校で定年退職されるまで長年、苦小牧市内の学校で教員生活を送りました。芸術家・画家としてもすばらしかったのですが、教育者・教師としても秀でていました。

図書館と読書指導にも熱心な校長

当館の蔵書には、謹呈 遠藤ミマンと揮毫された本「子どものイメージ開

発」(昭和四十九年刊)があります。苦

小牧市美園小学校著となっており、序文には遠藤満男名で「この本は、子供のイメージ開発」という(想像から創造への過程)を子どもの全教育活動の中で探った実践をまとめたもの」とあり、具体的な取り組みが書かれています。この実験的な取り組みには賛否両論あると思いますが、教育に対する熱意はひしひしと伝わってきます。なかでも「想像の土壌づくりともいえるべき読書と図書館、遊びと遊具開発の重要さもわかってきた」とあるように、学校図書館と読書指導にも熱心で、苦小牧の小学校に図書館司書を配置したのは遠藤校長が初めてでした。

その美園小学校の校長時代の思い出として「文部省の考えを最小限にして、子供や地元の考えをどれだけ入れるか、楽しい戦いだっただ」と述懐しています。換言するなら、権威に迎合せず、市井の声を取り入れることに尽力したということでしょう。さらに、「文化というものは、いくら投資したらいくらの効果がある」というように数字で測ることはできない」と費用対効果などという言葉もなかったころから、すでにそのことが文化にはなじまないことを示唆していました。

スパイ嫌疑が三回の熱血先生

この反権威主義ともいえる正義感
は戦時中にも健在でした。「戦争が進んでくると毎月一回、樽前山神社に戦勝祈願のため全校生徒を引き連れ、参拝に出掛けるようになった。僕は「つまらないから神社参拝よりも勉強した方がいい」と職員会議で発言したら、次の日特高(特別高等警察)がやって来た。そういう不穏な発言をする、すぐ特高に教える仕組みになっていたようだ」と戦時下では職員室も伏魔殿になっていたようです。ミマンが影響を受けた画家で道内画壇の重鎮、国松登が「いま時、こんな素朴で野生に満ちた純真な男がいるだろうか」という性格ですから、スケッチをしているだけでスパイ嫌疑が三回という不運にも見舞われます。そして国松は教職生活を終えたミマンに「常に子供を愛し、詩を愛し、故郷を愛して来たが、これからも愛し続けていくことだろう」と賛辞を寄せています。ミマンは平成十六年(二〇〇四)、逝去されましたが、来年はぜひ十周忌の追悼展を催してほしいものです。(文中敬称略・大泉)

引用・参考文献

先人が語る苦小牧第三号 二〇〇四
遠藤ミマン画集 一九九〇

イベントのお知らせ

赤ちゃんと楽しむはじめての絵本ひろば

内容 赤ちゃんと絵本の出会いを目的とし、赤ちゃんと絵本の接し方の実践と指導、絵本の紹介、読書相談などを行います。

日時 10月18日(金) 10:30~11:30

会場 中央図書館2階 講堂

定員 15組(キャンセル待ち3組まで)

対象 1歳児とその保護者

申込 10月3日(木)~10月9日(水)

開館時間内 中央図書館カウンター、または電話(35-0511)で受付。

定員を超えた場合は10月10日(木)に抽選を行います。(はじめての方優先)

連絡方法 申込みしていただいた全ての方に10月10日(木)に電話で連絡いたします。

秋の読書週間ビデオ上映会

日時 11月2日(土)
1回目10:30~、2回目14:00~

会場 中央図書館2階 講堂

上映作品 「宮西達也劇場 おまえうまそうだな vol.1・vol.2」

※1回目・2回目ともに同じ作品を上演します

定員 70人(直接会場へお越しください)

対象 幼児から小学生まで

おはなし広場

内容 大型絵本や紙芝居を使用した読み聞かせなどを予定しています

日時 11月3日(日) 10:30~11:30

会場 中央図書館2階 講堂

定員 100人(直接会場へお越しください)

対象 幼児から小学生まで

寄付・寄贈ありがとうございました。(平成25年7月21日~9月20日)
個人 108件 731冊 団体 59件 94冊

展 示 の 予 定 コ ー ナ ー	★ 閲覧室入口 展示中 SF特集 10月26日~ 星と宇宙と石の話
	★ 児童コーナー 展示中 スポーツをしよう! 10月26日~ だいすきなかく
	★ 一般書コーナー(検索機横) 展示中 健康になる食べ物アレコレ
	★ エントランス 展示中 遠藤ミマン生誕100年記念展 勇払原野を愛して

※ 休館日の展示の公開はありません。
 ※ 行事・催し・展示については、変更・中止になる場合がございます。

中央図書館カレンダー

※黒塗り白字になっている日は休館日です
 丸印がついている日は午前9時30分~午後5時開館
 印が付いていない日は午前9時30分~午後7時開館

2013年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	⑤
⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	②
③	④	5	6	7	8	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚

12月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	⑦
⑧	9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚	㉛				